



各 位

2023年5月30日

会 社 名 株式会社イオンファンタジー  
代表者名 代表取締役社長 藤原 徳也  
(コード番号 4343 プライム市場)  
問合せ先 取締役 兼常務執行役員 管理統括  
兼 リスクマネジメント担当 井関 義徳  
(電話 043-212-6203)

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月15日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。

2023年2月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりご報告いたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年2月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、以下のとおりとなっており、「流通株式比率」については基準を充たしておりません。

当社は下表のとおり、2025年2月末までに上場維持基準を充たすことを目標としており、引き続き各種取組みを進めてまいります。

		流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金
当社の 適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 (移行基準日) ※1	60,769 単位	131 億円	30.7%	2.4 億円
	2023年2月28日時点 ※1、※2	60,563 単位	170 億円	30.6%	2.4 億円
上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画期間		—	—	2025年 2月末	—
適合状況		適合	適合	不適合	適合

※1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 1日平均売買代金は、対象期間を2022年1月から2022年12月までとしております。金額につきましては2023年1月11日に東京証券取引所より通知された「上場維持基準（売買代金基準）への適合状況について」に基づいて記載しております。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価

当社は去る2021年12月に開示した上場維持基準の適合に向けた計画書の中で、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、従来のアミューズメント中心の単一事業モデルから体験価値産業・複合事業へと経営モデルを進化していくことをまとめた中期経営計画に基づき、今後も

グローバルに事業を展開するとともに、それにふさわしいコーポレート・ガバナンスの実効性と透明性の向上に努めることを説明させていただきました。併せて流通株式比率の基準を満たすため、既存株主さまの株式の売却を要請するなど様々な施策を複合的に検討することとしておりました。

その実現に向けて、当社はこれまでに以下の内容に取り組んでまいりました。

- (1) 2022年4月に「こどもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを策定いたしました。
- (2) 同時にサステナビリティ方針を策定し、持続可能な社会への貢献と企業価値向上の実現に向けたサステナビリティ経営を推進しております。
- (3) コーポレート・ガバナンスを経営の最重要課題のひとつとして認識しており、直近の取締役会におきましては取締役9名のうち3名を独立社外取締役で構成し、実効性の高い監督機能の発揮につとめております。
- (4) 2022年10月には当社で初めてとなる統合報告書を発行し、当社コーポレートサイトに公開いたしました。本報告書は、株主・投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーの方々に向けて、本年制定した「パーパス」を軸に中期経営計画や事業、マテリアリティ等の全体像を発信することをテーマに、価値創造モデルの経営戦略や事業の強み、業績報告に加え、サステナビリティの方針・体制、マテリアリティ、ESG情報などを中心に構成しております。
- (5) 英文での情報の開示・提供におきましても、現在、「決算短信」及び「決算補足資料」並びに「コーポレートガバナンス報告書」の英語版を当社コーポレートサイトに公開しております。

今後におきましてもプライム市場に上場する企業として、より高い水準と実効的なコーポレート・ガバナンスを構築するとともに、当社の企業価値向上に向けた取り組みを積極的に開示し、IR活動の充実につとめてまいります。詳細につきましては、2023年5月30日に更新いたしましたコーポレート・ガバナンスに関する報告書をご参照下さい。

前連結会計年度(2022年3月1日から2023年2月28日)の国内事業は売上高がコロナ前水準まで回復し、営業利益は会社計画どおりの進捗となりました。戦略的小型店「TOYS SPOT PALO (カプセルトイ専門店)」と「PRIZE SPOT PALO (プライズ専門店)」の出店を加速させ、年間102店舗の新規出店を行っております。当期も引き続き戦略的小型店の拡大を進めるほか、顧客の新たな期待価値に対応した事業・業態の進化を推進してまいります。あそびながら自然を学べる屋内遊戯施設「ちきゅうのにわ」、従来のアミューズメント機能である「モーリーファンタジー」に加え、「学童+子どもクリニック+休憩ラウンジ」等を併設した「多機能型エデュテイメント施設」の展開やお子さまが一人で行ける「スキッズガーデン」の単独出店を既に取り組み、お客さまからの支持を得ております。

中国事業は前連結会計年度におきましてはゼロコロナ政策の影響により売上回復が遅れておりましたが、当期に入り消費動向も生活必需品の需要が充足し、コト消費である「あそび」の需要拡大に推移すると共に業績回復へと移行しつつあります。

アセアン事業は、休業規制中にSNSによるプロモーションやイベントの強化、接客のスキルアップに取り組んだ結果、2022年3月以降、政府による営業規制の緩和が進むと売上が急回復し、売上高、営業利益とも過去最高を更新し、計画を達成いたしました。各国共に業績は回復から拡大へと変化しており、このような需要増加に 대응するため、主力業態であるキッズーナに加え、プレイグラウンドのローカライズ化を進め、商業施設タイプに対応した業態開発を進めてまいります。また国別の人口動態、経済成長、イオングループの出店戦略を踏まえ、経営資源の配分に優先順位と強弱をつけた成長戦略を計画してまいります。

前連結会計年度内に業績の回復及び成長基調への復帰を遂げ、今後はポストコロナにおけるセグメントごとの具体的な施策を着実に実行することにより、更なる業績の向上と成長に向けた積極的な投資のための原資創出を推進してまいります。

当社はプライム市場における上場維持基準「流通株式比率 35%以上」の基準を満たしておらず、当該基準を満たすために、既存株主さまとの株式売却をはじめ、その他複合的な施策についての検

討を進めております。現在、最適な実施内容とその時期についても検討中であり、2023年2月末時点におきましては実現に至っておりません。しかしながら、既存株主さまとの協議につきましては、継続して行なうこととしており、実現は可能と考えております。

### 3. 今後の課題・取組内容

当社はプライム市場での上場維持を志向しており、上述のとおり「流通株式比率 35%以上」の達成が課題となっております。今後も引き続き、持続可能な社会への貢献と企業価値向上の実現に向けた取り組みを推進するとともに、既存株主さまとの株式売却をはじめその他複合的な施策についての検討を進めてまいります。当社の取り組みを既存株主さまにご理解いただき、流通株式比率向上のために最善の方法を選択し実施していくことが課題であると認識しております。具体的な施策内容、実施時期につきましては現在も検討中ではありますが、2025年2月末までに上場維持基準への適合を計画しており、開示すべき事項を決定した際には速やかに開示いたします。

以 上